

機能要件					
番号	分類	内容	統合型GIS	現地調査システム	公開型GIS
1	デザイン	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。	○	○	○
2	操作性	利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること。	○	○	○
3	アクセシビリティ	アクセシビリティに配慮したデザインであること。	○	○	○
4	システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得できること。	○	○	○
5	アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得できること。	○	○	○
6	利用規約への同意	利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）ができること。			○
7		問合せ方法に関する情報が掲載できること。			○
8		システムの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計できること。			○
9	管理情報	職員用アカウントを登録できること。	○	○	
10		管理者によるパスワードのリセット又は再設定ができること。	○	○	
11	アクセス制御	職員アカウントは、所属ごとなどでグループ設定でき、各グループごとに利用可能な情報の権限設定ができること。	○	○	
12	トップページ等	次の情報を掲載できる利用者向けトップページを設置できること。 掲載内容：システム名称、画像、利用上の注意、新着情報、操作マニュアル、問い合わせ先、地図ページへのリンク等			○
13		利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。			○
14	背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。	○	○	○
15		地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。	○	○	○
16	凡例機能	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	○	○	○

17	地図表示	表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。		○	
18		表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。	○		
19		表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。	○		
20		異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。	○	○	
21		並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。	○	○	
22		施設情報や地図コンテンツと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。	○	○	
23		背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定できること。	○		
24		表示している地図の内容を表示できるURLを表示できること。	○		
25		任意の対象物や属性情報に対してハッチングができること。またその結果を保存、出力できること。	○	○	
26		ハッチングパターンは縦・横・斜め（右下がり、左下がりの各方向）等複数から設定できること。	○		
27	索引図表示	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。	○		
28		索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。	○		
29	主題情報・シンボル情報	図形情報に対応するポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）を表示できること。	○	○	
30		図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できること。	○	○	
31		点レイヤと属性情報で構成されるシンボル情報を表示できること。また、点レイヤはアイコンとして表示できること。	○	○	
32		アイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。	○	○	
33		属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。	○	○	
34		属性情報の値（角度）に従い、ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。	○	○	
35		縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。	○	○	
36	関連ファイル	施設情報や地図コンテンツに関連ファイルを設定できること。	○		
37		アイコン、線レイヤ及び面レイヤをクリックすることにより、関連ファイルを表示できること。	○		
38		画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。	○		

39	拡大縮小	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小できること。	○	○	○
40		表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大できること。	○	○	○
41		レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。	○	○	○
42		マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小できること。	○	○	○
43	移動	マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示できること。	○	○	○
44		画面上に表示されるボタン等により、地図を任意の方向に一定割合で移動できること。	○	○	○
45		マウス操作により地図をつかんだようにして移動できること。	○	○	○
46	URL・QR	表示した位置情報をURL出力できること。	○		
47		表示した位置情報の携帯電話用URLをQRコード変換して表示できること。	○		
48	レイヤ表示等	線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。	○		○
49		レイヤ単位及び分類単位で表示・非表示の切り替えができること。	○		○
50	属性情報設定	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。	○	○	
51	属性情報表示	地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。	○	○	
52	属性情報の表示サイズ	属性情報は任意のサイズで表示でき、地図表示の拡大縮小によってサイズを変更しないこと。	○	○	
53	属性一覧	地図上の地物の属性一覧を表示できること。	○		
54	属性検索	属性一覧画面から地物を検索できること。	○		
55	属性データ型	属性情報としてデータ型（数値、文字列、URL）を設定できること。	○		
56		URLについてはハイパーリンクとして表示できること。	○		
57	住所検索	住所情報による地図検索ができること。	○	○	○
58		住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「一」「ー（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。	○	○	○
59	目標物検索	目標物による地図検索ができること。	○	○	○
60		キーワード入力による地図検索ができること。キーワードは文字の部分一致で検索できること。	○	○	○
61		リスト選択による地図検索ができること。	○	○	○
62	ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。	○	○	○

63		画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。	○		
64	印刷	都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。	○		
65		コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。	○		
66		都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際のレイアウトを予め指定した独自の様式に変更できること。	○		
67		データ出力	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。	○	
68	計測	マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。	○		
69		距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。その際画面上の表示更新が行えること。	○	○	
70		計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。	○		
71	作図	地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。	○	○	
72		一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。	○	○	
73	表示	スマートフォンに最適化された画面表示ができること。ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。		○	○
74	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。			○
75	固定資産	筆界図データの検索、更新・修正及び出力ができること。	○		
76		地方税法第388条に規定する「固定資産評価基準」に基づき行う固定資産評価に必要な機能を有すること。	○		
77		固定資産（土地）の評価計算ができること。（作図による任意の画地の設定、路線価の登録、土地の画地計算）	○		
78		任意の時点での公図の交付が可能なこと	○		
79		事前に入力したデータ（筆界図、住宅地図、航空写真、土砂災害警戒区域図、災害危険区域等）を任意で選択し、重ねて閲覧・出力できること。	○		
80	上下水道	地図上で任意の管渠を選択（起点、終点）し、縦断図を作成できること。	○		
81		負担金年度、猶予、減免などデータベース情報に基づき地図上の色分けができること。	○		
82		各系統毎に総括したデータ、系統ごとのデータを出力できること。	○		

非機能要件

番号	分類	内容	統合型GIS	現地調査システム	公開型GIS
1	機器環境	端末	PC	タブレット端末及びスマートフォン	PC、タブレット端末及びスマートフォン
2		OS	Windows10以上	iPadOS13以上、iOS8以上及びAndroid5以上	Windows10以上、iPadOS13以上、iOS8以上及びAndroid5以上
3		ネットワーク	LG-WAN	インターネット なお、インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。	インターネット なお、インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。
4		ブラウザ	MicrosoftEdge	MicrosoftEdge、Firefox、Safari又はGoogleChrome等主要なWebブラウザから利用可能であること。	MicrosoftEdge、Firefox、Safari又はGoogleChrome等主要なWebブラウザから利用可能であること。
5		同時接続・ライセンス数	10	10	上限なし
6		システムの利用においては、Java、ActiveX又は.NET Framework等のプログラムを別途必要としないこと。	○	○	○
7	データ管理	誤操作等によるデータ損失を避けるために必要な措置を講じられること。	○	○	○
8		データは、週次で差分もしくは増分バックアップを実施し、最低3世代分を保有できること。また、月次でフルバックアップを実施し、最低3世代分保有できること。	○	○	○
9	サービス提供時間	原則、24時間365日利用可能であること。ただし、保守等の予定された停止については、この限りではない。	○	○	○

10	不正プログラム対策	システムの稼働環境及び開発環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じられるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つことができること。	○	○	○
11		システムの稼働環境及び開発環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備できること。	○	○	○
12	保有データの提供	契約満了時は、当市が情報管理権限を有するデータを全て抽出し提供できること。	○	○	○
13	保有データの消去等	契約満了時は、データ提供ののち、受託者側のシステム上からデータを消去し、復元不可能な状態にできること。	○	○	○